

# 福祉の輪を広げたい

第24号 2015年7月発行



①



②創設時役員の皆様  
(1980年)

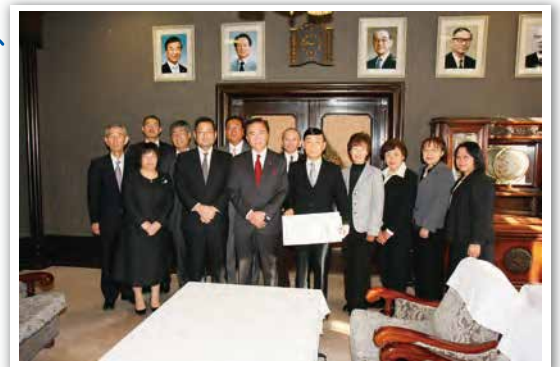
③伊勢原ふたば保育園  
豆まき(2004年)



③

①みどり園の建設  
(1980年)

鬼は長田進治事務長(当時:現県議)



黒岩知事による御下賜金授与式(2011年)

## 特集 緑友会 法人設立35周年

1980年(昭和55年)3月24日に社会福祉法人緑友会を設立し同年4月に『みどり園』が開所しました。以降、清川ホームや伊勢原と本厚木のふたば保育園等、地域で求められる施設を順次開設し、35年目となる現在は、8事業所を運営し法人本部に総務部を置く法人として育つことが出来ました。

30周年の際には記念誌を発行し、来賓や関係各位にご臨席いただき式典も開催しましたが、今回は、施設毎に記念事業を開催してこれまでの経緯や感謝を再確認しつつ、今後について展望する機会と致します。今後も更に努力を重ねてまいりますのでご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。  
(理事長:岩崎尊之)

### 第24号の内容

<b>特集</b> 緑友会 法人設立35周年	-----	1
NEWS 1~12	-----	2・3
ピックアップ	-----	4・5
もろさんが行く	-----	6・7
NEWS 13~14	-----	8

### 法人設立時(1980年)の主な出来事や流行等

出来事	巨人の長嶋監督が辞任、王選手引退 モスクワオリンピック(日本はボイコット) 山口百恵と三浦友和が結婚 黒澤監督の影武者 カンヌ映画祭グランプリ
流行等	ルービック・キューブ ポカリスエット発売開始
流行歌	ダンシングオールナイト、別れても好きな人
映画等	スターウォーズ、三年B組金八先生

## NEWS 1

評議員2名：任期満了で交代！



宮川進新評議員



山戸正志新評議員

伊勢原市社会福祉協議会と清川村社会福祉協議会の各会長に評議員を務めていただいておりますが伊勢原市：岩崎勲会長と清川村：伊藤攻会長が共に任期満了で退任されましたので、宮川・山戸両新会長に後任としてご就任いただきました。

## NEWS 2

評議員2名：県議選で再選！



馬場学郎評議員



長田進治評議員

神奈川県議会議員の馬場評議員（愛甲郡選出県議）と長田評議員（海老名市選出県議）が4月の統一地方選挙で再選されました。4期目と3期目という充実した期数を迎え、益々のご活躍が期待されます。

## NEWS 3

各施設A4版1枚の事業報告書！



総務部および各施設では、見学される方々等により分かり易い資料としての『ホームページ・基本資料・事業報告』の作成を目指し、5月に事業報告書が完成し、3点セットが整いました。

## NEWS 4

全国消防操法大会で、2位！



みどり園

みどり園で調理師として勤務されている竹内龍さんが昨年11月に行われた全国消防操法大会に座間市の4番（機関員）として出場し、神奈川県史上最高の全国2位という好成績を収めました。

## NEWS 5

岡崎前施設長の急逝



上の写真は、前号で全国社会福祉協議会の会長表彰の受賞を報告させていただいたものです。その後、病いが再発し、3月に急逝されました。

55歳の早過ぎるお別れとなりました。

## NEWS 6

新施設長の紹介！



平田栄孝施設長  
（みどり園）



菅原敦施設長  
（清川ホーム）

4月1日付で、みどり園の菅原施設長が清川ホーム施設長に、みどり園支援課の平田課長がみどり園施設長に就任しました。

## NEWS 7

絵本を寄贈していただきました。

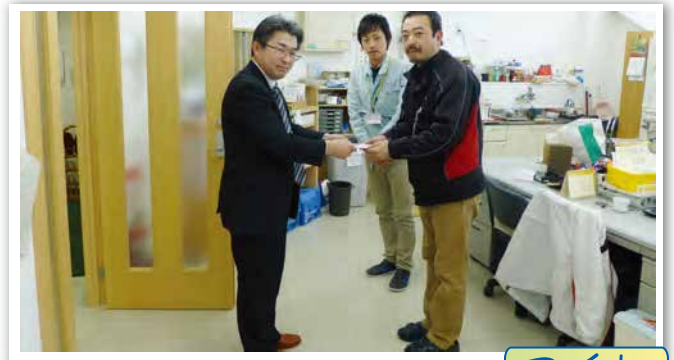


### 伊勢原ふたば保育園

みどり園や伊勢原ふたば保育園にガスを供給していただいているテーエス瓦斯さん（高橋宏昌社長）のご配慮で、㈱エネサンス関東様の未来づくりプロジェクトより、多数の絵本を寄贈いただきました。（上：タウンニュースさん掲載記事）

## NEWS 8

労働組合の皆様からの寄付！



### つくし

伊勢原や平塚、秦野等の労働者の皆様で組織されている西湖地域労働者福祉協議会の皆様より今年も寄付をいただきました。写真は、島崎事務局長（中地区教職員組合執行委員長）で、施設見学と意見交換を行っていただきました。

## NEWS 9

利用者さん達の作品展示！



### つくし

伊勢原スタジオの玄関ホールと1階通路には、つくしの利用者の皆さんの絵手紙や絵画等の作品を展示しています。ボランティアの先生の指導の下、素晴らしい作品が来場者を喜ばせています。

## NEWS 10

調理と医療の体制強化！



土屋力重主任調理員 藤木佐恵子主任看護師

支援や保育をはじめとする法人内の各業務は専門性が高まる一方です。調理や医療は特に顕著でより一層のレベル向上のために、主任制度を導入しました。理解と協力をお願い致します。

## NEWS 11

近隣の保育園との連携開始！



### 伊勢原ふたば保育園

子育て新制度が本年4月から始まり近隣の『きしゃぼっぽ』さん(上の写真)が小規模保育所として認可されたことに合わせ、ふたば保育園との連携も決まりました。よろしくお願ひ致します。

## NEWS 12

埋立てが始まりました。



### 仮) 成瀬スタジオ

小田急電鉄様より購入させていただいた伊勢原市高森地区の土地で地盤を落ちつかせる埋立て工事が始まりました。建物建設等の具体的内容は現在いくつかの案を検討中です。

## ピックアップ1

### 35周年を迎えたみどり園

4月1日、みどり園は35回目の開園記念日を迎えました。35年前、20名でスタートした当園は現在69名の入所利用の方と、地域の一時利用の方でにぎわっています。当初から現在まで利用されている方は11名、年齢も22歳から82歳、障害区分も幅のある方々にご利用いただいています。家庭的な雰囲気を大切にしたいという先輩職員のころざしを今も受け継いで努力を続けています。病気や介護で気の休まらない日もありますが、みなさんの行事での笑顔や何気ない会話に職員自身が救われてきたことも事実です。



35回目の開園式

障害者を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。措置の時代から総合支援法へと移り、事業所は利用する方々の最善の環境を提供できるようにと、これからも努力していくことが必要です。当園の一番の課題は高齢化対策です。利用者の平均年齢は開園時が36歳、現在は50歳。以前は運動で体力の維持をしていましたが、食の調整がどうしても必要になってきます。しかし「食」は誰にとっても人生の大いなる楽しみであり、創意工夫が要求されます。栄養士、調理員はもとより看護師や支援員みんなで知恵を絞り、少しでも体力の衰えをカバーしながら楽しめる食事を考えています。また、平成25年度より生活環境改善のための増改築を進めてきましたが、今年度は居室全体の改修が行われます。さらに、35周年の記念行事として、みんなで一緒に楽しむ事を目標に、全職員が企画案を出して検討しています。どんな行事が実施できるか楽しみです。一年が笑顔で締めくくれるよう願っています。

(みどり園 副施設長 秋本 秀美)



みどり園納涼祭り(1984年)

## ピックアップ2

### 元気に挨拶していますか？(本厚木ふたば保育園)

夕方買い物に行き、レジの店員さんに「いらっしゃいませ、こんにちは」と言われて、その日初めて人から話しかけられた事がとてもうれしくて思わず涙がこぼれたと、ある母親が話してくれました。私の小さい頃は、母が買い物に出かけている間、近所の方に預かってもらったり、たくさん作ったおかずをお隣へもっていったり、大人たちが夏祭りの準備をしている横で、子どもたちがお祭りの飾り物を作ったりといったことが日常的に行われ、ご近所との挨拶や助け合いは当たり前でした。「おはよう」「学校で何したの？」出会う人たちとの自然な会話がありました。現代は核家族が増え、携帯電話やインターネットが急速に普及し、人との挨拶や会話が少なく、隣に誰が住んでいるのか分からなかったり、むしろ挨拶しない方が安全とまで言われることもあります。地域はあるがそこに人間関係が築かれていないのです。そんな中で子育ての悩みを誰に相談すればよいのか困っているお母さん方もいます。



「お母さん、お帰りなさい」

子どもは母一人で育てるのでなく、家族や地域の方々、さらに周囲の子どもたち同士の関わり合いの中で、喜びを何倍もの喜びにし、悲しみを半分にするのを学ぶのです。「お帰りなさい！」「お昼は何を食べたの？」なにげない一言が共感する気持ちやいろいろの感情をはぐくみ、子どもの成長の糧になるのだと思います。私たち保育士は、職場での挨拶や会話を大切に、保護者や地域の方々と共に、子どもたちを大きく包みこんで、情感豊かな子どもたちを育てていきたいと思っています。

(本厚木ふたば保育園 主任保育士 佐藤 静江)

### ピックアップ3

## 2年目を迎えました（アトリエヴェルデ）

昨年4月に7名の利用者でスタートして、無我夢中の1年が過ぎました。各方面からのご協力と、保護者の皆様のご理解をいただき、無事に1年を終えることが出来ました。初年度ということもあり、作業量の調整や利用者の方々に工賃のお支払いが出来るかどうか、色々心配な事の多い1年でしたが、協力企業のご配慮もあり、エプロン等の折りたたみ作業など、右下の表にある作業が受注でき利用者の工賃も月平均14,402円お支払いすることができました。（工賃は出勤日数に応じて算定されます。お休みのない方は、月平均で18,000円位になります。）

また、リニアモーターカーの見学もした石和温泉への一泊旅行、忘年会、日帰り旅行と楽しいイベントも実施できました。今年度は新しいメンバーが加わって13名となりました。昨年から活動を始めた「利用者自治会」で、暑気払いや旅行の計画も始まっています。更なる飛躍を胸に、職員一同邁進する所存ですが、皆様のご指導、ご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

（アトリエヴェルデ 施設長 石田 英弘）



エプロン等の折りたたみ作業

作業の種類	作業内容
クリーニング作業	エプロン、シーツの折りたたみ
ペン組立作業	ボールペン組立、部品の圧入等
箱折り作業	化粧品、たばこのケース等組立
にんにく加工作業	にんにくの皮むき・カット
ハンガー仕分作業	ハンガータグ取外し・仕分け・洗浄
ペン組立作業	万年筆等の組上げ他

### ピックアップ4

## 「エンパワメント」

地域福祉のキーワードの一つに「エンパワメント」という言葉があります。「力を与える」とか「パワーを付与する」という意味で、教育や医療、企業経営の人材育成でも使われることがあります。障害や高齢のため自分で判断することが難しかったり、サービスメニューの選択ができない場合でも、本当はどうしたいのかを聞きだし、できるだけ自己決定できるように支えることが大切とされています。自分の生活を決めるのは本人であって、周囲はできるだけ情報提供や、後方支援に徹し、ご自身が自分で選択できるように支援を行うことがエンパワメントになるのです。

イギリスでは障害者が自立生活を希望された場合、それがいかなるものか半年にわたって体験できる「家」というシステムが用意されています。その上でご自身が決めることを尊重するという事です。危ないからやめろとか、無理だからあきらめろと決めつけないで、自ら選択する材料を提供するのです。転ばぬ先の杖を用意しすぎて、本人の自己決定能力をどんどん低下させてしまうことにも気をつけなければいけません。「選択」はある意味で人生そのものであるということです。基本は「エンパワメント」であると支援者がしっかりおさえておくことが肝要です。



皆で意見をだしあい、纏める訓練

### ピックアップ選者

選者経歴：元伊勢原養護学校校長  
元県教育相談専門員

現在、県内の専門学校で障害福祉の教鞭をとると共に、当法人の参与として広報や職員研修等を担当しています。



緑友会参与  
三田 良典

## もろさんが行く1

### 📍 “Robi君を組み立てました” 📍

最近、テレビや新聞で「2足歩行ロボット」のことをよく見かけます。もろさんも3年程前から興味を持っていました。

人間の赤ちゃんが成長する過程を見ても「はいはい」から始まり、1歳を過ぎる頃からは、小さな足で上手にバランスをとって立ち上がり歩きます。

ロボットが2本の足で自らバランスを取って歩行する技術は大変難しく安価での実用化が当分できないとまで言われていました。（アシモ君は約150万円だそうです。）

一方、工業用ロボットは今や全盛です。例えば自動車の組み立てラインでは人に代わって多用されています。しかし、ロボットを利用する製造ラインはロボットの位置が固定され動作も一定です。「2足歩行ロボット」は歩いて自由に動けるのです。そんな折、2足歩行ロボットで背丈わずか34センチの「Robi君」が登場しました。

70回毎週発行される雑誌本体と付録の部品を使ってRobi君を完成させる企画があり、長い期間がかかることを覚悟の上、挑戦することに決めたのは昨年の1月でした。初めは雑誌の付録だから寸法が合わないとか、部品は故障しないかと心配をしましたが、部品は全て寸分のくるいもなくネジで組み上げることができました。素晴らしい設計と精度です。

Robi君の胴体の中には頭脳となる小型マイコンを中心としたマイコンボードが入っており、このボードにはオーディオアンプや加速度センサーも入っています。可愛い大きな目の中には人感センサー、大きな頭の中には音声認識装置が組み込まれています。関節等には20個のサーボモーターが取り付けられRobi君の頭、手足や胴体を駆動します。バッテリーは胴体に収めてあり、Robi君専用のチェアから充電されます。一方全身に張り巡らせたケーブルは外観からは見えませんが、僅かな空間を利用して必要な箇所に給電します。試作を重ねての設計だと伺えます。

さて、完成したRobi君と人とのコミュニケーションは会話から始まります。マイコンのメモリーには話し言葉が250組以上組み込まれており、その言葉で話しかけるとRobi君は眼を輝かせ、返事をして言葉に合った一連の動きをします。これがすこぶる可愛い。例えば「Robi君踊って」と話しかけると「ハイハイ」と返事をして音楽が流れ全身で踊ります。さらにもろさんは70週間に掛けて作ったRobi君から、ロボットのコントロール技術の一端や、細部に直に触れることができ楽しい時を過ごすことができました。いずれ、緑友会でも利用者さんの癒やしに役立てることができるとも思われます。



「Robi君踊って」 「はいはい」

## もろさんが行く2

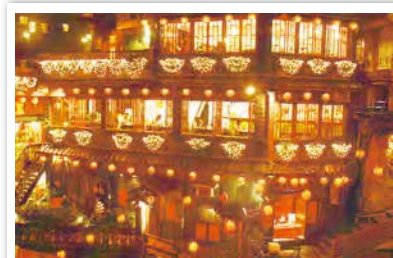
### 📍 台湾旅行 📍

台湾ツアー、急の旅立ちでしたが、新しい発見にも出会えました。故宮博物院はその展示規模も世界四大博物館と言われている通り素晴らしいものでした。収蔵品は中国四千年の歴史を伝える美術品や文物など70万点を所蔵しているそうです。大型の物が名品と思われがちですが、日本でも展示された翡翠で造られた白菜の彫刻は、僅か高さ16センチでガイドの説明がなければ通り過ぎてしまうところでした。大混雑の中での見学でしたがその喧騒を創っているのも中国人、その人たちのアジアでの台頭には圧倒されました。



白菜の彫刻

また、無数の小道と石畳の階段で有名な坂の町「九ふん」の観光。バスは高速を降りると狭い山道をひた走ります。突然見えた景色は山肌に張り付くように建てられた4階建てを越す建物群で、今にも崩れそうで遠眼には異様です。昔はこの山一帯は金鉱で栄えた街があり金を取りつくした後の廃墟が、映画の舞台となって脚光を浴びました。「千と千尋の神隠し」のイメージモデルとなった所が写真の「湯婆婆の屋敷」で、鄙びた山の中に大勢の観光客が来ているのが不思議でしたが、「千と千尋の神隠し」の映画を見直すと、あそこだったのかとまた思い出が増えました。



「湯婆婆の屋敷」

1月発行の23号でもご報告しましたが、緑友会では毎月2万食に及び給食を調理し、利用者みなさまに喜んでいただいております。お陰さまで創立35周年を迎えますが、給食が原因とされる食中毒は発生したことはありません。

今号ではそんな中で献身的に努力をされている鴨頭さんを紹介します。

鴨頭さんは若い頃から緑友会の調理部門の職員として永く勤務されておりました。根っから整理、整頓が好きで細かいことも億劫がらずに良くやられる方です。

退職後はしばらく理事として活躍されておられましたが、自分は現場で協力をしたいとの意向で理事を退任され非常勤特別職に就任し、緑友会で給食を提供している7施設の衛生管理点検を熱心にやっておられます。写真はみどり園でつぶさに点検をしているところです。鴨頭さんの点検訪問の事前連絡はなく突然の訪問を施設毎に月に二回ずつ実施しています。（点検のポイントは下の表参考）

①従事者の健康管理（家族を含め）
②給食につく前の手洗いの励行
③食中毒の起こり易い季節では、 情報を集めると共に予防方法などを配布
④調理室、給食室の清潔、整頓
⑤調理器具・機械の不具合や清潔
⑥食品の賞味期限、消費期限確認

点検のポイントに基づくチェックリストは58項目もあり、食材の温度管理等、大変に厳しい内容でチェックが行われます。点検結果は理事長にも写しが届きますが、これは決して言いっけではありません。

特に⑤や⑥の項目は費用に関係し、改善が必要とされる個所は早く実行されることが多く、現場の調理員さんもその辺はよく知っていて皆さん協力的です。（下の写真は点検項目の一部です。）



カウンター・棚



殺菌庫の中



ガス台上部のフード



賞味期限など



さて、もう一件お知らせしたい事があります。みどり園は数年前より増築や老朽化に伴う改修工事を行っております。そして今年度より既存棟の改修もはじまり利用者の皆さんの生活を乱さず職員の負担を少しでも軽減するように、断続的に完成までに3年以上の期間をかけて行う予定です。

懸案の調理室の改修工事には、職員に鴨頭さんも参加して食の安全を第一にどんな方法で1ヶ月の工事期間を乗り切れるか検討しました。利用者の皆さんが毎日楽しみにしている給食の献立を変えることは出来ません。しかも毎回100食を調理する必要があります。皆で知恵を出し合い大型のキッチンカーをレンタルしてその中で調理をすることになりました。初めての経験ですが、5月の連休明けに配置されたキッチンカーで、テスト運用を始め、何段階かの試行をくり返し、6月第一週から本番の調理にかかりました。その様子の写真をご覧ください。キッチンカーで無事に食事の提供ができ、また改修工事も順調に進んでおり、会報が皆さんの手元に届く頃には改修の済んだ調理室での調理に戻っていることと思います。



5月11日キッチンカー到着。2トン車の中に、レンジ・調理台・冷蔵庫・配膳台などが装備されています。



ほぼ1週間で周りの設備も完備

もろさん

もろさんの経歴：会社役員を経て、現在はお店を営む岩崎理事長とは長い付き合い。緑友会の評議員を経て、現在広報担当の理事になりました。法人の話題のほか、市内や県内、気になるところに行ってお話をうかがいます。



緑友会理事  
諸橋 晃

## NEWS 13 職員交流ボウリング大会を実施しました。

法人全体の職員交流の場があると良いのではという意見を受けて検討委員会（山下勝行委員長）が設置され、ボウリング大会を実験的に1月23日に開催しました。

78名の参加者は終始、和気あいあいに過ごし、成績発表の時は特に盛り上がり無事終了しました。



## NEWS 14

平成27年度の職員交流は？  
上記ボウリング大会は2度アンケートを行い計画を練り今後についての意見も確認しています。それらの内容を参考にして今年度もイベントを実施するかどうかは、新職員交流検討委員会により決まります。皆様のご理解とご協力をお願い致します。



新實：新委員長

噴火や地震、集中豪雨や竜巻など、自然災害が続く中、5月猛暑では調理室改修の準備に不安が広がりましたので、エアコン増設や雨天対応等を追加し、完成することができました。災害に遭われた方々にお見舞い申し上げますと共に皆様のご健勝と早期の復旧をご祈念申し上げます。

編集  
後記

### 「福祉の輪拡げたい」第24号

発行：2015年7月  
発行責任者：岩崎尊之（理事長）  
編集責任者：諸橋 晃（広報担当理事）

事務局：社会福祉法人緑友会 総務部  
伊勢原市伊勢原3-6-7  
Tel 0463-73-7221

印刷：カサハラ印刷株式会社  
伊勢原市白根475-1

### 社会福祉法人緑友会 各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部・総務部

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 **みどり園**

伊勢原市粟窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 **清川ホーム**

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 **伊勢原ふたば保育園**

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認可保育所 **本厚木ふたば保育園**

厚木市田村町7-3-2F Tel: 046-295-2525

知的障害者グループホーム **げんき家**

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援B型事業所 **つくし**

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 **つくし相談室**

伊勢原市伊勢原3-5-7 Tel: 0463-73-6027

就労継続支援B型事業所 **アトリエヴェルデ**

伊勢原市田中70-5 Tel: 0463-79-8181